

企画展

妖精の棲む森へ

—猪風来の創作土偶展—

平成23年 2月2日(水) - 3月31日(木)

■野山に分け入り、野焼きのための粘土を探して土を掘る。土のかたまりには雑草の根がからまり、その中には億千の微生物。湿った土中から放たれる精気は、草木を養い、虫や小鳥や動物たちの生命をささえる。粘土を手でもんでいくと、大地の精霊たちが姿をあらわし心に語りかけてくる。縄文文様は、自然の精霊たちを豊かにおおらかに表現したものです。

今回は猪風来がこれまでに、その時代、その土地の森や野で出会った妖精たちをテーマに創作した野焼き作品約30点を展示します。制作時期は1982年から1999年頃まで。草のシリーズ、森のニンフシリーズなど、その時期ならではの独特な表現・表情をみせる作品たちは、大地からわきたつ豊潤でパワフルな生命力に溢れています。どうぞご覧ください。

 **猪風来美術館**
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

日本最大の縄文土器制作など、縄文野焼き技法の第一人者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

【開館時間】 午前9:30～午後5:00
【休館日】 毎週月曜日(2月中は月・火)
【観覧料】 一般400円 高校生200円
【アクセス】

岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

